

第3章 調査項目の選定

第 3 章 調査項目の選定

3.1 調査項目

3.1.1 調査項目の選定

川辺川ダムの事業計画、五木村及び相良村の地域の特性を踏まえ、川辺川ダム事業において事業の影響の詳細な検討が必要と想定された環境要素について、調査項目として選定し、事業の影響や必要に応じて保全措置等の検討を行った。

選定した調査項目は表 3.1-1に示すとおりである。

表 3.1-1 川辺川ダム建設事業における調査項目

環境要素の区分		影響要因の区分	工事の実施	土地又は工作物の存在及び供用
大気環境	大気質	粉じん等	○	
	騒音	騒音	○	
	振動	振動	○	
水環境	水質	土砂による水の濁り	○	○
		水温		○
		富栄養化		○
		溶存酸素量		○
		水素イオン濃度	○	
土壌に係る環境その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質		○
動物		重要な種及び注目すべき生息地	○	○
植物		重要な種及び群落	○	○
生態系		地域を特徴づける生態系	○	○
景観		主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観		○
人と自然との触れ合いの活動の場		主要な人と自然との触れ合いの活動の場	○	○
廃棄物等		建設工事に伴う副産物	○	

注) ○印は選定した調査項目を示す。

「工事の実施」は、以下「工事中」という。

「土地又は工作物の存在及び供用」は、以下「ダム供用後」という。

3.1.2 調査項目の選定理由

調査項目を選定する理由を表 3.1-1に示した。

表 3.1-1 調査項目の選定理由

項目		選定する理由	
環境要素の区分	影響要因の区分		
大気環境	大気質	工事中	工事等による建設機械の稼働及び工事用車両の走行に伴う粉じん等により生活環境が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として粉じん等を選定する。
	騒音	工事中	工事等による建設機械の稼働及び工事用車両の走行に伴う騒音により人の健康と生活環境が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として騒音を選定する。
	振動	工事中	工事等による建設機械の稼働及び工事用車両の走行に伴う振動により人の健康と生活環境が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として振動を選定する。
水環境	水質	工事中	工事等による濁水の発生や、ダムの堤体の工事によるコンクリートからのアルカリ分の流出により生活環境や水利用が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として土砂による水の濁り、水素イオン濃度の2項目を選定する。
		ダム供用後	ダムの供用及び貯水池の存在による濁水の長期化、貯水池内及び下流の水温変化、富栄養化、溶存酸素量の減少により生活環境や水利用が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として土砂による水の濁り、水温、富栄養化、溶存酸素量の4項目を選定する。
土壌に係る環境その他	地形及び地質	ダム供用後	貯水池の存在等により重要な地形及び地質が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として地形及び地質を選定する。
動物		工事中	工事等により重要な種が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として動物を選定する。
		ダム供用後	貯水池の存在等により重要な種が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として動物を選定する。
植物		工事中	工事等により重要な種及び群落に影響を受けるおそれがあるため、調査項目として植物を選定する。
		ダム供用後	貯水池の存在等により重要な種及び群落に影響を受けるおそれがあるため、調査項目として植物を選定する。
生態系		工事中	工事等により生態系が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として生態系を選定する。
		ダム供用後	貯水池の存在等により生態系が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として生態系を選定する。
景観		ダム供用後	貯水池の存在等により主要な眺望地点から景観資源を眺望する景観が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として景観を選定する。
人と自然との触れ合いの活動の場		工事中	工事等により主要な人と自然との触れ合いの活動の場が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として人と自然との触れ合いの活動の場を選定する。
		ダム供用後	貯水池の存在等により主要な人と自然との触れ合いの活動の場が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として人と自然との触れ合いの活動の場を選定する。
廃棄物等		工事中	工事等により建設発生土等の建設工事に伴う副産物が発生するおそれがあるため、調査項目として廃棄物等を選定する。